

○各項目の取組内容(太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会)

具体的な取組の柱		実施する機関															
事項	具体的取組	目標時期	広島市							府中町	安芸太田町	県	気象庁	国土交通省 中国地方整備局			
			中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区					佐伯区	広島県	広島地方気象台	太田川河川事務所
①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組																	
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																	
	・堤防整備、高潮対策 (透透対策、パイピング対策、決下能力対策)	M	順次実施													・堤防整備、高潮対策(透透対策、パイピング対策、決下能力対策)	
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備																	
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する危機管理型水位計の整備	C,H,I	H30年度													・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する危機管理型水位計の整備	
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する河川監視用カメラ等の整備	C,H,I	順次実施													・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する河川監視用カメラ等の整備	
	・河川のリアルタイム映像の提供設備の検討	C,H,I	H30年度													・河川映像の提供設備検討	
■洪水浸水想定区域に基づくハザードマップの作成・周知等																	
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域の作成・公表	A	H28年度から													・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域の作成・公表	
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域に基づくハザードマップの作成・周知	A,D	H29年度から													・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域が公表された場合、ハザードマップの更新及び住民への周知	
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域に基づく避難勧告等の発令基準の見直し	C	H29年度から													・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域が公表された場合、必要があれば避難勧告基準の見直しを実施	
■多様な防災行動を含むタイムラインの作成																	
	・河川管理者、治川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの策定に着手	B,C,D,H,I	H28年度から													・河川管理者、治川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの作成に着手	
	・リアリティのある水防訓練の実施	B,C,D,H,I,K	H28年度から													・避難勧告に着目し、防災拠点にも統合したリアリティのある水防訓練を実施	
■防災教育や防災知識の普及																	
	・堤防決壊時、越水時の洪水の被害に備えるイメージ動画の作成・公開	A,B	H28年度から													・堤防決壊時、越水時の洪水の被害に備えるイメージ動画の作成・公開	
	・「川の防災情報」や地上デジタル放送の活用促進のための周知	C,E,G	H28年度から													・「川の防災情報」の活用促進のための周知	
	・出前講座等を活用した防災教育の実施	B,E,H,I	H28年度から													・出前講座等を活用した防災教育の実施	
	・気象情報発信時の「危険度色分け」や「警戒級の現象」等の改善	B,E	H29年度から													・警戒等における危険度色分け表示 「警戒級になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	
	・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	B,C,E,G	H28年度から													・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	
	・住民向けの防災ポータルサイトの構築	B,E	H28年度から													・住民向けの防災ポータルサイトの構築	

